



## 開発が進む青森駅(東西自由通路)

青森駅新駅舎と東西自由通路の利用が3月27日スタートした。還暦を過ぎた青森駅が新築され、駅西口公園の整備、青森駅周辺の開発が進んでいる。

【撮影】 令和3年5月11日 青森地区保護司会(広報部・樋口)

# 青森地区 保護司会だより

発行：青森地区保護司会  
編集：広報部  
青森市長島1丁目3-28  
更生保護施設プラザあすなろ  
青森地区更生保護サポートセンター内  
TEL 017-763-0763

青森地区(保護区)の保護司定数は132名、本年4月1日付で現員数は120名、充足率90.90%(内、女性保護司33名、女性比率27.5%)、平成23年以降の90%越えである。新任保護司の推薦にご協力をいただいた皆様には、心から感謝申し上げます。

私の知りうる限りでは、平成15、16年頃に全国の保護区定数見直しがあり、(全国の定数52,500名は変わらず)青森保護区定数は、平成16年度までは定数130名、平成17年度と18年度は定数139名、再度見直しがあり、平成19年度定数123名、再々見直しで、平成20年度から現在の定数132名になったと記憶しています。

充足率は、ここ10年程90%(一時80%を切ることも)を下回っており、このまま下降をたどれば、人的予算的に当地区の更生保護活動に支障をきたすのではと心配しているところでした。

昨年6月、青森保護観察所と青森



青森地区保護司会  
会長  
天内 修

## 保護司発掘のご協力を

県保護司会連合会と「保護司の適任者確保のための青森県緊急対策本部」を共同設立し、その下に当地区では「青森地区保護司適任者確保緊急対策チーム」を立ち上げ、新任保護司の発掘で皆様のご協力により、おかげさまで9名の純増となりました。

が、充足率は東北平均には及ばず、ワーストをウロウロしている状況です。当地区では、今後10年間で約半数が任期満了で退任予定、当地区としても青森県保護司会連合会の協力を得ながら、各高等学校PTAあてに「保護司へのおさそい」をはじめ関係書類を配布しており、今後、青年会議所、商工会議所、各自治体等への働き掛けも考えています。

平成14、15年をピークに事件数こそ減ってはいますが、その事件内容はとても複雑になってきており、事件担当も複数担当制をとるようになりました。私も保護司は微力ながらも、犯罪を生まない地域社会を、人が人を思いやる地域社会をつくる。その活動のためにも新任保護司の発掘を皆様にお手伝いいただければと思います。

コロナ禍ではありますが、皆様のご健勝で過ごされますことを願い、皆様のお知恵と行動力をお願いいたします。

令和3年度

# 地区定時総会開催

開催日 5月13日(木)  
会場 アピオあおもり

- 重点目標**
- ◎地域別定例研修会の出席向上や自主研修を充実し資質の向上を図る
  - ◎地方公共団体と連携を密にし、犯罪予防活動の推進を図る
  - ◎再犯防止に向け、刑務所出所者等に対する社会復帰支援を図る



青森保護観察所木村所長(右)、天内会長(中央)  
副会長(右から石田、塩原、中川、鳴海、鎌田)、事務局(左)

## 新任保護司11名(令和2年度) 青森市に再犯防止推進計 画策定を要望など計画

令和3年度定時総会は、第1回地域別定例研修会の後に開催(総数120名、出席63名・委任状40名・欠席17名)され、来賓の青森保護観察所木村所長挨拶後、令和2年度事業報告、収支決算を承認、続いて令和3年度事業計画案、収支予算案、

役員改選について審議、満場一致で原案通り承認された。

新役員は、副会長に長尾氏(第2分会長)、田邊氏(第3分会長)が就いた。〔下記令和3年度地区役員名簿参照〕

天内会長から、昨年度はコロナ禍により事業がほぼ中止となった。今年度は、事業を進める計画の予算組となっているが、社会状況次第では、すぐ中止もある。

保護司の発掘では、地区の緊急対策チームの活躍もあり、11名が新任され、充足率が上がった。

また、青森県再犯防止推進計画の策定で、現在パブリックコメントを募集している。青森市には、今月中にも再犯防止推進計画の策定をお願いに行く予定だ。

木村所長の挨拶から、業務重点事項として①満期釈放者に対する社会復帰対策の積極的な実施②CFPを活用した実行性のある保護観察処遇の推進③若年者を中心とした保護司適任者確保の促進④地域社会の安全・安心に貢献する更生保護の推進、またデジタルツールの活用を推進したいなどの説明があった。

### 令和3年度 青森地区役員名簿

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 副会長     | 天内 修(第1分会)      |
| 会長      | 石田 次郎(第1分会長)    |
| 〃       | (新)長尾 幸治(第2分会長) |
| 〃       | (新)田邊 孝美(第3分会長) |
| 〃       | 鳴海 峰泰(第4分会長)    |
| 〃       | 鎌田 喜代志(第5分会長)   |
| 常務理事    | 樋口 修三(第3分会)     |
| 事務局長    | 佐藤 俊政(第4分会)     |
| 庶務      | 山田 啓子(第3分会)     |
| 〃       | 野澤 絹枝(第2分会)     |
| 〃       | 棟方 公男(第3分会)     |
| 〃       | 酢谷 奈保子(第1分会)    |
| 地区監事    | (新)佐藤 光子(第1分会)  |
| 〃       | (新)徳差 悦(第2分会)   |
| 〃       | (新)加藤 節子(第3分会)  |
| 〃       | (新)北山 英之(第4分会)  |
| 〃       | 工藤 照造(第5分会)     |
| 〃       | 佐々木 雅久(第5分会)    |
| 広報部会長   | 塩原 誓子(第2分会)     |
| 研修部会長   | 市川 和行(第4分会)     |
| 渉外部会長   | 阿部 哲(第4分会)      |
| 地域活動部会長 |                 |

今年も宜しくお願い致します。

令和3年度

# 地域別定例研修

開催日 5月13日(木)  
会場 アピオあおもり

保護司活動を行うに当たって不安に感じていることも多いというところで、留意点や、万が一の感染の疑いがあった場合等の対応などについて確認し、不安の解消を図り、適切な保護司活動が行えるようになることをねらいとしている。



講師の若松保護観察官  
(第1・2・3分会担当)

令和2年度第1回地域別定例研修会は、5月13日アピオあおもりで地区保護司120名のうち68名が参加し開催された。講師は、青森保護観察所・若松保護観察官で「コロナ禍における保護司活動等について」研修がすすめられた。感染症拡大が報じられて1年以上経過したが、現在も予断を許さない状況が続いている。

## コロナ禍の保護司活動について 面接前にチェックシートを利用 新たな非接触型の面接に見直す



感染症拡大防止に対応した研修会風景

### 基本的な対策

- ① 相手と2m空ける(最低1m)
- ② 常時マスクの着用
- ③ 手洗いは石鹸で30秒

### 面接前の留意点

- ① 面接する対象者に面接前チェックシートに沿って感染症の罹患の疑いがないか確認する。対象者に往來訪前に電話で確認することが望ましい。
- ② 対象者から感染症の罹患が疑われる旨の連絡を受けた時は、面接の延期または電話等にするか代替手段をとる。
- ③ 保護司も面接前に自己チェックを行い、該当する事項があった場合は、代替手段をとる。

※詳細は、青森保護観察所・担当官に相談してください。

## 令和3年度 保護司研修計画

### 地域別定例研修【保護司全員】(保護区単位で実施)

| 実施時期        | 研修テーマ                      |
|-------------|----------------------------|
| 第1回(4月~6月)  | コロナ禍における保護司活動等について         |
| 第2回(7月~9月)  | 新類型「特殊詐欺」「嗜癖的窃盗」における処遇について |
| 第3回(10月~3月) | 犯罪被害者等施策と保護観察の進め方          |

### 特別研修【担当者】(青森保護観察所での集合研修)

| 実施時期 | 内容          |
|------|-------------|
| 6月   | 保護司会事務担当者研修 |

### 年次別研修【対象の保護司】(保護区単位で実施)

| 名称        | 対象者   | 実施時期(予定)      |
|-----------|---|---------------|
| 処遇基礎力強化研修 | 令和2年委嘱保護司及び平成31年・令和元年委嘱保護司のうち本研修未受講者        | 令和3年10月6日(水)  |
| 指導力強化研修   | 平成29年委嘱保護司及び平成28年委嘱保護司のうち本研修未受講者(令和2年度未実施分) | 令和3年6月29日(火)  |
|           | 平成30年委嘱保護司及び平成29年委嘱保護司のうち本研修未受講者            | 令和3年10月20日(水) |

# 新任保護司紹介「保護司の委嘱をうけて」

令和3年  
3月1日付



青森市久栗坂  
第1分会  
白坂 早苗

この度、人の立ち直りに携わる保護司という民間ボランティアがあることを知りご縁をいただきました。正直このお話をいただいたとき私自身にこのような責任のあるサポートができるのだろうかと思いましたが、お勧め頂いた方からのお話も沢山お伺いしながら少しずつ自分の中でこのお役目を決めていった経緯です。私自身の普段の仕事もストレスケアなどの仕事をしておりますが、全く経験のない保護司は保護観察処分となった犯罪者や非行少年の立ち直りを見守り、スムーズに社会復帰できるようにアドバイスや支援するものが主な仕事ということ、不安な部分は先輩方に教えていただき今の私のベストと一緒に向き合ってみたいと思います。学ぶべきことも沢山あります。ことを予想しておりますのでご指導をいただきながら心に寄り添いたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



青森市本町  
第2分会  
三上 正子

知っている方が何人か「保護司」をしていらつしやる事もあり、その方々に尊敬の念を抱いております。はからずも、私自身がお引き受けする事になり、身の引き締まる思いです。仕事柄、多くの人材と面接をしたり研修をしたり、相談や傾聴が日常のキャリアアカウンセラーであることが、少しでもお役に立てるかもと考えました。過日、受講致しました新任保護司研修会では、社会と対象者との狭間で壁の高さや厚さもあるであろうと深く感じました。それも踏まえて、諸先輩方の経験談を伺い「お役に立ちたい！」という思いを強くした次第です。

人と関わるということは「理不尽」「矛盾」「虚無」「無力」「失望」が伴うものです。「一隅を照らす」には、未熟で力不足ですが「一隅を想う」ことに努力したいと考えています。

人とのご縁や出会いに感謝しつつ、関係各位、諸先輩方々のご指導をいただけますようよろしくお願ひ致します。



青森市緑  
第2分会  
櫻尾 郁子

ボランティアや社会貢献にまったく興味がなかった私が、社会貢献事業に出会い何か自分も社会のためになることはないだろうかと思っていた時に、たまたま保護司をされている方と出逢いました。色々話を伺っているうちに、自ら保護司になりたいと言いだした珍しいタイプの人間とも言えます。

研修もまだこれからですが、すでに担当する対象者が決まり緊張しておりますが、先輩保護司の方にご指導いただき、誠意で接していきたいと思っております。

普通に生活していると、決して出会うことのないお仕事に出会えたこと、そして対象者の方を担当させていただくたびに、自分自身、人として成長させていただくことが殆どではないかと思うと、既に期待と感謝の気持ちでいっぱい自分がいま。

先輩方のご指導を素直に受け止め、どんなことにも真摯に向き合いながら精いっぱい頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



青森市中央  
第2分会  
石川 恭裕

昨年の秋頃、行きつけの喫茶店のコーヒで休憩していると、以前から顔見知りだった田邊孝美さんから「石川くん保護司にならないかな？」と声をかけていただきました。田邊さんはモデルガンコレクターで自宅を博物館並みにしている方なので、ガンマニアの私も（田邊さんの保護司へのお誘いは何かのご縁で間違いない）と思い即決で返事をさせていただきました。あまり知らない人はモデルガンは犯罪やイタズラに使う悪いイメージがありますが、そのような事に使う人は意外とモデルガンに興味のない人が多いのです。一つ間違えと危険なモノになってしまうモデルガンの世界に携わっている人は長年にわたり安全面や誤解を生まないように取り扱い方やTPOをわきまえております。

このような経験を踏まえて、少しでも対象の方が正しく明るくなるようお手伝いさせていただきますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

# 新任保護司紹介「保護司の委嘱をうけて」

令和3年  
3月1日付



青森市幸畑  
第2分会  
白岩 貢

保護司の存在は知っておりましたが、まさか自分に声がかかるとは夢にも思っておりませんでした。

青森に住み始めて23年。高校卒業後青森県を離れ、大学卒業後高校教師として勤務していた東京が生活の場でした。30歳で一念発起してその職を辞し、ドイツに留学。2年の勉学を終えて帰ってきたのが1999年。青森山田高校、青森短期大学、青森大学で教鞭を執りながら音楽家として活動して来ました。

そんな私に青森に住んでまもなく知己を得、長年の親友で尊敬する人生の先輩から突然の電話。「保護司にならないか」というお誘いでした。果たして自分がお務まるのか、その役割にふさわしいのかと戸惑いましたが、これまでの教員生活の経験が少しでも活かせるのであれば、地域や社会に貢献ができるのであれば、とお引き受けした次第です。先輩方のご指導や研修会、さまざまな行事を通して、少しでも社会の役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



青森市桂木  
第2分会  
野土谷泰大

この度の委嘱、思い起こせば3年前にお誘いを受けた事を思い出します。その時は家族の理解を得られずお断りしておりました。何故ならば、義父（故：松江憲樹）が保護司を委嘱されていた時分、義母や子である妻からその大変さを実感していたからでした。家族の理解無しにやれることではありません。しかし昨年、友人Tさんからお誘いを受けました。何故か想うところが有り即日、家族に相談しました。結果、妻から「2度もお誘いの機会を得たのも何かの縁、お父さん、頑張ってみなさい。これで親子二代：やっぱり何か縁があるんだわね。さて、また苦勞しましょう」と笑顔で快諾してくれました。妻以外の家族の理解、会社、取引先の理解も得る事ができております。常日頃「貢献」の言葉を意識している自分。保護司としての新しい貢献の場を得た事、周囲の理解と支えに感謝しつつ、任を全う出来まます様に努力します。改めて、宜しくお願致します。



東郡外ヶ浜町  
第4分会  
柳谷 隆男

「断る勇氣」そんなフレーズがある。62年外ヶ浜町（旧蟹田町）で人生を歩んできたが、このフレーズを実践した事は無い。思えば断れず、青年団体、幼稚園父母会、中学校PTAなどの会長をやらせてもらった。おかげでかけがえのない多くの友人知人ができた。会長を断っていたら、日々充実して過ごせる今の自分は無かったように思う。「やってもらいたいのがある」と職場の大大先輩だった石田繁義氏から言われたのが昨年の春「何を」と聞いたが笑顔で帰ってしまつた。真夏7月保護司候補者身上調書等申請書類を持って氏が再訪。氏は保護司であり、定年であることを初めて告げられた。ここだけの話だが断る勇氣がなくて、乗用車と小舟を無料でもらい、川柳の石碑まで建立してもらった。これも無料だが内緒です。そしてこの3月1日、上川陽子法務大臣名で委嘱状をいただき身の引き締まる思いで、諸先輩のお力を拝借し役を努めていきたい。



青森市浪岡  
第5分会  
下山 泰尚

以前から保護司の存在は知っていましたが。同級生の祖父、知人の母が保護司で「責任重大で大変そう」という記憶があります。

昨年の冬に、前任者から保護司へのお誘いを受けて戸惑いました。

私は会社員として青森で入社しましたが、その後、転勤で30年間首都圏勤務でした。故郷を思いながら働き、定年退職を機に青森へ三年前に帰って来ました。微力ではございますが、地域社会に貢献が出来るならその場で委嘱を受けました。

先日、研修会で多くの資料を前に講義を受け、対象者の方に向き合う姿勢と信頼されること大事だと感じました。

新人保護司として不安のほうが多いですが、ご助言を受けながら頑張りたいと思います。よろしくお願致します。

# 令和3年度 社会を明るくする運動 ポスター



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ  
第71回 社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」強調月間・  
再犯防止啓発月間です。

社明 しゅめい



## 第71回 “社会を明るくする運動”

～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ ～

【青森地区推進委員長 小野寺市長】

本年度の社会を明るくする運動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限、延期  
または中止になる場合があります。



青森地区  
保護司会  
ホームページ

### ① 青森地区推進委員会

今年度は、県推進委員会開催が中止となったため、当地区の推進委員会も中止となりました。

### ② 中学校との連携活動

日時 令和3年7月21日(木)  
13:00～  
会場 佃中学校

### ③ 街頭広報活動

例年アウガ前などで開催していますが、今年度は、中止となりました。

### ④ 青森ねぶた祭りに参加

今年度は、青森市PTA連合会ねぶたが不参加ですので、県保護司会連合会では参加しません。

### ⑤ 社明広報キャラバン隊

日時 未定  
自家用車に「社会を明るくする運動」マグネットシートを貼り、青森市内～油川～蓬田村～今別町～外ヶ浜町の津軽半島を移動する予定

### ⑥ 出前!更生ホゴちゃん

日時 令和3年10月6日(水)・  
7日(木)・8日(金)  
会場 アウガ1F「駅前スクエア」

令和3年度 予告 **更生保護関係団体の主な行事**  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止により延期または中止になる場合があります。

“社会を明るくする運動”

**青森刑務所「矯正展」** 開催 未定

“社会を明るくする運動” 第40回 令和3年度

青森地区更生保護女性会

**「みんなのつどい」** 開催 未定

“社会を明るくする運動”

**社明広報キャラバン隊**

◎三者連携(保護司会・更生保護女性会・BBS会) 7月予定

◎青森地区保護司会・更生保護サポートセンター 9月予定

**県央ブロック保護司研修会**

開催地 / むつ下北地区

開催 未定

**青函保護司合同研修会**

開催地 / 函館地区

開催 未定

第42回 令和3年度

**青森県更生保護大会「弘前市」**

開催日 11月19日(金)

会場 弘前市民会館

担当/弘前地区保護司会

## “社会を明るくする運動”とは？

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で71回目を迎えます。



法務省保護局  
社会を明るくする運動  
ホームページ

## 更生保護の黄色い羽根

黄色い羽根は、更生保護の証で、7月の社会を明るくする運動強調月間では、総理、法務大臣他、更生保護議員連盟の国会議員もこのバッジを着用しています。保護司も積極的に着用しましょう。

## 青森地区 保護司OB会だより

青森地区保護司会の皆様、犯罪や非行などの過ちをした人たちの立ち直り支援を保護観察所指導のもと、活動されていることに感謝いたします。

保護司会も高齢化が進み、毎年数名の退任者がおります。そこで令和元年度より保護司OB会が発足し、現在16名の会員が在籍しております。

行事として毎年プラザあすなる入居者との餅つき会やOB会員の交流会などです。今後とも退任予定者に声掛けを行い、充実した楽しいOB会になれるよう心がけたいと思います。

お問い合わせは青森地区更生保護サポートセンターまでお願いします。

TEL 017-763-0763

【OB会事務局長 伊藤】



令和2年12月餅つき会

### 【役員紹介】

- 会長 飯田 祥生
- 副会長 櫛引 義弘
- 副会長 加川 史
- 理事 細井 修
- 理事 佐藤 武治
- 理事 遠間 善弘
- 理事 山口 幸宏
- 監事 中嶋 綾子
- 事務局長 伊藤 尚三



事務局ニュース

令和3年度 主要行事予定

保存版

新型コロナウイルス感染症拡大防止により延期または中止になる場合があります。

※空白の日付けは、現在は未定となっています。

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日 ※印は保護観察所及び各団体事業

Table with columns for month and date, and rows for various events such as 'Monitoring Committee (令和2年度)', 'Regional Training', and 'Annual Meeting'.

青森保護観察所職員紹介

青森1・2・3 分会担当

青森4・5 分会担当

(五所川原地区兼任)

(八戸・鮎ヶ沢地区兼任)



保護観察官 若松 孝之

保護観察官 佐々木啓文



広報部 木村 眞次

私達の仲間の男性が昨年青森から直線距離でも千二百キロ以上離れた佐賀県にお住まいの女性の方と結婚された話をします。二人はそれぞれ青森と佐賀で宮司さんをしており...



また、無事に入籍も終えていまに至っているのですが私達の前で二人の夢も語ってくれました。「もしも2人の子供が出来てその子供達が成長し青森と佐賀の神社を継いでくれたら、その時にはずっと一緒に暮らせるかなあ?」とまるでドラマの様な話しをしたので広報部の皆さんが感動しました。

二人は普通のご夫婦とは違い、いつでもすぐに会えるという訳には行かない状況で頑張っています。若さとはとても強く素晴らしいですね。

一おめでとうー